

お知らせ

当院では、以下の臨床研究を多施設と共同で実施しております。この研究は通常の診療で得られた過去の記録をまとめる/保管されている試料を詳しく調べることによって行います。このような研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんお一人お一人から直接同意を得ることが難しい場合には、研究内容の情報を公開することが必要とされております。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、下記の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】

「症例登録システムを用いた腹腔鏡下肝切除術の安全性に関する検討～前向き多施設共同研究～」

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院 肝臓・胆のう・膵臓・移植外科

【研究責任者】 高井昭洋（肝胆膵・乳腺外科 講師）

【研究代表者】 金子弘真（東邦大学医療センター大森病院），若林 剛（上尾中央総合病院）

【研究の目的】 腹腔鏡下肝切除術は開腹手術と比較して明らかに傷が小さく、手術による患者さんの負担を軽減すると考えていますが、これまで詳しく検証されたことはありません。この試験により腹腔鏡肝切除術の安全性を明らかにすることができれば、患者さんの肉体的・精神的な負担を軽減する本術式の今後の発展が期待できます。したがって、この研究の目的は、症例登録システムを用いて腹腔鏡下肝切除術の安全性を多施設共同研究により評価することです

【研究の方法】

（対照となる患者さん）平成27年12月1日より平成32年3月31日の期間で、腹腔鏡下肝切除術を行う患者さんをWeb上で症例登録を行い、そのデータをもとに腹腔鏡下肝切除術の安全性を検討します。症例登録システムは肝臓内視鏡外科研究会が構築したものです。

（利用されるカルテ情報）性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、摘出標本病理、治療状況等

【個人情報の取り扱い】

本研究の実施に際して得られた医療情報については秘密が守られます。

本研究の成果が将来公表されるまたは他の機関へ提供される可能性があります。個人を識別する情報は、結果の報告や発表に使用されることはありません。

さらに詳しい研究の方法をお知りになりたい場合は、「お問い合わせ先」までご連絡ください。他の患者さんの個人情報や知的財産保護等に支障がない範囲でお伝えいたします。また、この研究の対象となられる方で「ご自身の診療録(カルテ)や保管されている試料(血液や組織など)は除外してほしい」と望まれる方は下記お問い合わせ先までご連絡下さい。

【問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院 肝臓・胆のう・膵臓・移植外科 高井昭洋

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5327